

特別会計

昭和58年度の予算総額

また、事業面では、安定した水が供給できるよう、昭和五十六年度から四か年継続事業として設定しました第八次拡張事業も三年目を迎えます。この夏に一部通水ができるよう工事請負費などの経費として七億五千五百円を計上しました。



水道会計

水道事業の経営では、事業収益六億一千四百八十三万円を組みました。このうち給水収益(水道料金)は、五億六千五百

国民健康保険事業では、十二億三千七百五十万六千円を組みました。国保会計は、老人保健法の施行に伴い、老人の医療給付が老人保健医療特別会計から支払われるようになったことなどにより、昭和五十七年度決算は、若干の黒字が見込まれます。老人保健医療特別会計は、老人保健法の施行に伴い、六十五歳から六十九歳までの重度障害者を含む七十歳以上の全老人に係る医療の給付に必要な経費十三億三千七百九十七万円を組みました。



国保会計 老人保健医療会計

このうち六五・三%を投資的経費としての普通建設事業費にあてています。その内訳は、補助対象事業費二億五千万円、単独事業費三億六千六百五十万円、桂川右岸流域下水道負担事業費二千七百四十四万円となっています。本年度も、幹線の整備および面的整備の促進・拡充を図り、水洗便所の普及率の向上に努めます。



下水道会計

農業共済事業は、農家が不慮の事故により受ける損失に対し補償するもので、農業経営の安定と農業生産力の発展など農業の一層の振興を図るもので、本年度は、一千百三十四万円を組みました。



農業共済会計

市制モニター制度、市民憲章の推進
191万円
広報向日市の発行、盲人用声の広報テープ作成など広報の充実、市勢要覧の増冊
1,799万円

水稲)共済の引受面積は一万二千八百アールを、園芸施設共済の引受棟数は二十五棟を予定しています。

環境の整備

- 道路の改良事業およびカーブミラーなどの設置、補修などの交通安全対策事業 4,280万円
- 都市計画街路事業の推進 1億3,934万円
- 都市下水路、小規模河川、排水路改修整備 905万円
- 都市公園、児童公園の改良整備 656万円



- 公共下水道幹線、枝線を積極的に推進 1億3,934万円
- 消防団活動の充実、防火水そうの改修、消火器補助など 3億1,978万円
- ごみの分別収集、し尿収集体制の充実など 6億3,729万円



- 中小企業振興融資制度利用者に対して利子補給 3,976万円
- 中小企業者のために経営診断を委託など 45万円
- 消費者大学、消費生活展の開催、くらしの情報、消費生活モニターなど 124万円

- 街路灯の増設、改修、維持管理 834万円
- 交通事故を一掃するため交通安全教室の開催などとともに放置自転車条例のPR 167万円



- 交通災害共済加入者に補助 53万円
- 地域防犯体制の確立のため、警報機設備に補助 21万円
- 自治会の振興とコミュニティ促進のため、8自治会に補助 1,430万円
- 水田利用再編対策、米消費拡大、農業研究会などに補助 1,116万円
- 農業改良事業に補助など 330万円



- 中小企業振興融資制度利用者に対して利子補給 3,976万円
- 中小企業者のために経営診断を委託など 45万円
- 消費者大学、消費生活展の開催、くらしの情報、消費生活モニターなど 124万円



福祉と

- 70歳以上の老人に敬老
- 70歳以上の老人に市独
- 老人クラブの育成など
- ねたきり・ひとりぐらし(ホームヘルパー)を
- ひとりぐらし老人障害



- ねたきり・ひとりぐらし給付など
- 低所得世帯に属する老

- 老人福祉センターの運
- 身体障害者の社会復帰のために施設入所に係
- 肢体不自由、腎臓・心
- 去または軽減するため

- 重度身体障害者に対し
- 付
- 18歳以上の心身障害者
- 支給



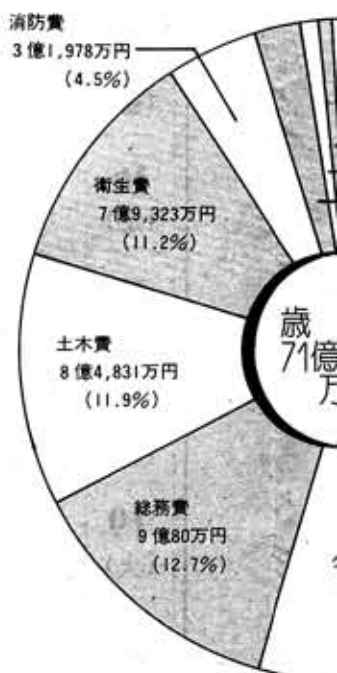
- ろうあ者世帯に設置し
- 基本料を補助
- 福祉関係団体、社会福
- 勤労者に対し、住宅資
- 給

民生費	32,476	消防費	6,333
教育費	25,671	議会費	3,022
公債費	19,541	商工費	1,322
総務費	17,838	農林水産業費	1,013
土木費	16,799	労働費	922
衛生費	15,708	諸支出金・予備費	172

82,741円

市民1人当たりの市税

市民税(個人)	40,541
市民税(法人)	7,690
固定資産税	21,015
軽自動車税	306
たばこ消費税	3,350
電気税	2,332
ガス税	150
都市計画税	5,875



市民の1人当たりの予算(一般会計)は **140,817円** です